

# 第43回全国自治体職員サッカー選手権大会～石川県七尾市

## 《さいたま市役所 第3位》

- 1回戦    さいたま市役所    1－1（PK4－3）福山市役所    （中国1位）
- 2回戦    さいたま市役所    1－0    宇治市役所    （関西2位）
- 3回戦    さいたま市役所    2－0    日立市役所    （北関東1位）
- 準決勝    さいたま市役所    2－3    藤枝市役所    （東海1位）

第43回 全国自治体職員サッカー選手権大会が7月18日から23日にかけて、石川県七尾市において、全国各地の予選を勝ち抜いた32チームが参加して行われた。本県からは、南関東予選会を勝ち抜いたさいたま市役所が出場した。

### <戦評>

初戦は18年ぶり4回目の出場、中国1位の福山市役所。試合開始の1時間前の9時頃から、突然の雷雨。試合ができるのかと思われたが、幸い通り雨。試合開始10時には、太陽が照り付ける猛暑になった。我がチームは初戦ということもあり、緊張とプレッシャーからかとても動きが硬かった。ボールは支配しているものの、なかなか決定的なシーンがないまま前半終了。しかし、後半立ち上がり2分、左サイドから、武富がクロス、吉田がコースを変えて、右サイドに走りこんだ岡田が左足で左サイドネットに突き刺すゴールでようやく先取点を奪った。しかし、その2分後、クリアミスから、福山市役所に決められ同点。このまま後半が終わり延長に突入。チャンスはわがチームが多いものの、決定的な場面も決められず、タイムアップ。初戦からなんとPK戦。先攻は福山市役所。さいたま市役所のGK古沢。1本目は左に飛び完全に読み手に当たったが残念ながらゴールイン。二本目は右に読み見事に止めた。一方さいたま市役所は、一人目は決めたが二人目はクロスバーに当ててしまう。3本目、4本目は両チームとも決め、福山市役所5人目はクロスバーに当て失敗。さいたま市役所5人目は確実に決め大切な初戦をものにした。

2回戦の相手宇治市役所（関西2位）は、初出場のチーム。昨日の初戦よりは硬さがほぐれることを期待したが、1回戦よりはリラックスできた感じもあったが、やはりまだ硬さが残る。前半0－0。しかし、後半立ち上がり2分今日スタメンに起用された塩川が左サイドを切り込みシュート性のクロス。それをゴール前に詰めていた太田が押し込みやっと先制。昨日同様ボール支配率は相手を上回るもののなかなか追加点が奪えない。危ない場面もあったが試合終了。やはり、追加点を早く取らないと苦しくなると痛感した試合だった。

3回戦の日立市役所（北関東1位）は、2年連続23回目出場のチーム。2試合こなしているなのでこの試合はリラックスして試合ができると予想していた。前半2分右45度付近で得たFKを吉田が直接決め早い時間に先制。これでだいぶ楽になったと感じた。前半29分に永井がドリブルで切り込み味方に当たってそのリターンをシ

ユート。一度ポストに当てるもその跳ね返りを自ら決め2点目。しかし、後半2点をリードしているにもかかわらず、立ち上がりに日立が前線に人数をかけてきたが、その対応に少し慌ててしまった。ここで失点していたらかなり苦しかったと思う。後半の25分過ぎくらいから右サイドでダイレクト、2タッチくらいでボールを回して、山形がDFの裏を取るシーンがあったが、後半の立ち上がりにそういうプレー出来れば得点も取れていたと思う。これで、3位以内が確定した。

準決勝の相手は、藤枝市役所（東海1位）。藤枝市役所は全国大会1回目から連続43回出場しており、優勝も27回を数える強豪チームである。前半立ち上がり3分、松本が右からドリブルからシュート。素晴らしいシュートが左サイドネットに突き刺さり先制1-0。しかし、前半17分左からのGKとDFの間に蹴りこんだクロスを合わせられ同点にされる。1-1。前半はこのまま終了。後半、徐々にスペースを使われ出したところでワールドクラスのみドルシュートを決められ1-2。その後も徹底的に裏を狙われて、3点目を奪われた。後半20分吉田を投入し、攻撃の枚数を1枚増やし、何度かチャンスを作った。試合終了残り5分、武富がペナルティの中で倒され、PKで1点返し2-3。終了直前、永井がGKと1対1となり、惜しいシーンもあったが、GKの好守に阻まれ試合終了。残念ながら決勝進出はならなかった。

しかし、あともう少して同点というところまで藤枝を追い込んだことは負けたとはいえ選手にとってとてもいい経験になったと感じた。初戦でPK戦をものにした事もGK古沢を中心にチームのモチベーションが高まったと感じた。全国で3位になれたのも、チームの全員が文字通り一致団結していたからだと思う。

残念ながら決勝進出はならなかったが、酷暑の中、栄養面等で選手の体調管理を担当した深井明美マネージャーと、試合中の給水の用意等、献身的に選手をサポートしてくれたサブの選手たちには改めて頭が下がった。

来年の大会は北海道旭川市で行われる予定だが、今大会での反省を生かし悲願の優勝を目指して一層精進していきたい。

さいたま市役所 佐藤 正二